



附属小学校だより

平成28年度

一年間の研究成果の発表

6月10日（金）、研究主題「思考の活性化による認識の深まり」を掲げ、教育研究発表会を開催しました。授業では、子供たちが自らの思考を深めていく姿が、とてもよく見られました。自分の考えをしっかりと話す様子は、附属の子供ならではの姿だと思いました。子供たちが互いに関わり合い、対話を通して深い学びへと発展し、認識を深めていく授業が展開されたと思います。

当日は、約490名の参会者を迎え、無事に全日程を終えました。現場の先生方や将来教員を目指す学生の皆さんと一緒に、提案した授業をもとに協議したことは、今後の研究を進展させる上で大変参考になりました。また、講演では、講師として国立教育政策研究所 教育課程調査官 高田彬成先生をお招きしました。「これから育成すべき資質・能力」と題してご講演をいただき、学習指導要領改訂に向かう中、本校の研究内容や今後子供たちを指導していく上で大切にしなければならないことなどについて、話していただきました。

研究発表会において、ふたば会執行部、役員、学級役員の皆様には、当日朝早くから係の仕事等で大変お世話になりました。また、教育研究発表会を多方面から支えてくださいました全ての保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。

心身ともに健康で確かな学力をもった子供に

「奇跡の星『地球』に生きる、心豊かでたくましく創造的な人間の育成」は、富山大学人間発達科学部附属小学校の教育目標です。重点目標として「自ら考え判断し、行動できる子供」を目指し、重点課題を4点挙げて取り組んでいます。自立と共生の視点から考え判断することは、これからの社会を生き抜く上でなくてはならない資質や能力です。そのような子供を、保護者の皆様と共に育てていきたいと考えます。（「平成28年度 This is 富大附属小」に掲載）なお、重点課題3は、今年度から「豊かな心づくり」としました。一層心身ともに健康で、確かな学力をもった子供に育てたいと思います。



重点課題1：「環境」・・・豊かな学習環境づくり

① 学習等との関連を図る

子供が自主的に考えられるように、学習との関連を図る資料コーナーや活動スペース等、学びの環境を整えています。

また、今年度も子供が読書に親しむ環境をさらに整えるために、図書を紹介コーナーを設置しました。今年度は、休み時間に図書委員会の子供たちによる「読み聞かせ」を、新しい企画として実施しています。7月に3回行った読み聞かせでは、低学年の子供たちが絵本の楽しさを味わいました。読書をするのが好きになり、いろいろな見方や考え方に触れ、心豊かな子供になってほしいと思います。

② 身近な学習環境を整える

進んでみんなの学習環境を整えることができる子供に育てたいと思います。帰りの会やカードで次のことをチェックします。

- ・机の中、ロッカーの中、月曜セットの中の整理・整頓
- ・授業後の机上の整頓
- ・離席するときに椅子を入れること

重点課題2：「知」・・・学力向上と家庭学習の充実

① 家庭での学習習慣と自学自習の仕方が身に付くよう「家庭学習のガイドライン」を配付し、保護者と共に振り返りカード（「スタディ 10」）でチェックするなどしています。

② 学習の基礎・基本の定着を図るために、がんばりカード等を活用して漢字・計算大会を随時実施しています。

ご家庭と協力し、子供たちの努力を認め励まし、成長を共に楽しみたいと思います。

重点課題3：「徳」・・・豊かな心づくり

心豊かな子供にますます育ってほしいと願い、今年度から重点課題3を「豊かな心づくり」としました。附属小学校における「豊かな心」とは、「やさしい心」「正しい心」「がんばる心」としました。

・やさしい心…他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心など

- ・正しい心……正義感や公正さを重んじる心、約束やきまりを守ろうとする心など
 - ・がんばる心…自己の向上を図ろうとする心、みんなのために働こうとする心など
- これらの心の育成を図るために、自尊感情を育んだり、仲間からよい心を学んだりできるように、「やさしい心」「正しい心」「がんばる心」を認め、広める機会を充実させます。例えば、次のことに取り組みます。
- ・「豊かな心」を育てるための強調週間の実施
 - ・一斉道徳の実施
 - ・「附属っ子のベストマナー」を守る

重点課題4：「体」……健康な体づくり

- ① 運動委員会主催のミニ集会＜運動＞
運動の技能だけでなく、心身ともに健康な子供になることを目指します。
- ② 附属っ子 チャレンジ ファイブ＜健康＞
今年度は、5項目のチェックのうち、姿勢に関する内容をより具体的にしました。自分の健康に一層留意する子供を育てます。

頑張っています少年団活動

全国の附属小学校ではほとんど見られなくなった少年団活動ですが、富山大学人間発達科学部附属小学校は3団をもち、今も子供たちの健全育成に取り組んでいます。

少年団活動は、人間的な触れ合いを深め、豊かな人間性を育むための重要な教育活動であると考えています。目当てをもち、その達成に向けて互いに助け合ったり、教え合ったりしながら前進する子供たちの姿を期待しています。そのためにも、学校の指導者（代表、顧問）、外部指導者、保護者会の三者がベクトルを揃えて活動していきたいと思えます。各団の近況を報告します。

【ミニバスケットボール部】

ミニバスケットボール部では、「互いの高まりを求めて、自ら考え実践していく」「結果ばかりでなく、取り組む過程に意味を見だし、日々の練習に励む」「少年団活動以外の活動においても、学校や学級のリーダーとして進んで活動をする」を活動の方針として、日々練習に励んでいます。また、「コートに立つ5人全員で自分たちのバスケットをつくり上げる！」という原田コーチの教えを大切にして練習し、チーム力を高めようと取り組んでいます。

現在、3年生2名、4年生6名、5年生3名、6年生9名の計20名で活動しています。6月4日、5日に行われた富山市少年団大会では、富山市3位となりました。これからも、公式戦、練習試合、附属中学校との合同練習などを行い、特に、基本技術とその応用ができることを目指します。

【サッカー部】

富大附属サッカースポーツ少年団は、過去5回の全国大会出場を誇る伝統あるチームです。全国大会への出場回数は、県内最多となります。チームの基本姿勢は、ALL FOR ONE. ONE FOR ALL！！

高学年は、中村監督のもと「考えるサッカー」「強い気持ち」「確かな技術」を合言葉に心を1つにしてパスをつなぐサッカーを目指しています。また、中学年は、「サッカーを楽しむこと」をねらいに、仲良くボールに親しんでいます。

現在、3年生2名、4年生10名、5年生2名、6年生6名の計20名で活動しています。7月に本団主催の「第26回わんぱくサッカーフェスティバル」を開催します。トヨタ少年サッカースクール（愛知県）の子供たちや県内のチームと交流し、心身ともに健全な子供を育てたいと考えています。

【吹奏楽部】

吹奏楽部は、創部28年目を迎えました。齊藤先生、パートレッスン等をしてくださる外部講師、環境をサポートしてくださる保護者の方々のおかげで、密度の濃い練習ができています。「継続は力なり」を合い言葉にして日々練習を積み重ねています。全員がレギュラーとして活躍する中で異学年との友情を育み、合奏を通して協調することの喜びと感動を味わっています。

現在、3年生6名、4年生5名、5年生9名、6年生6名の計26名で活動しています。自分が楽しむだけではなく、聴いてくださる方々に感動してもらえらる演奏を目指しています。

昨年度、大阪城ホールで行われた全日本バンドフェスティバルで金賞を獲得しました。今年度も、全国大会出場を目指して練習に励んでいます。メンバーの心を一つにして、最高のサウンドを披露したいと思えます。

附属小学校のホームページもご覧ください！<http://fes.u-toyama.ac.jp>